No.10

資料10-2

課題対応取組み報告書　【共通】

名称	西淀川区南西部地域包括支援センター
提出日	令和　7　年　6　月　25　日

カテゴリー（※主なものをひとつチェック）				
	☐	地域や専門職とのつながり等	☑	社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐	認知症高齢者等の支援	☐	自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐	その他（　　）		

活動テーマ	健康維持、認知症やフレイル予防へつなげるために地域住民主体の継続できる通いの場づくり
地域ケア会議から見えてきた課題	「高齢者本人だけでなく家族や地域の方々も高齢化しており、それぞれが認知症や精神疾患などなんらかの疾患を抱えている」「地域の人も支援したいという思いがあるが、地域の支援する側の高齢化やマンパワー不足があり、今以上の支援は難しい」などの地域課題がある。
対象	地域住民
地域特性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛のために生じた体力の低下、他者との会話不足などから、生きがいを感じる生活を再び取り戻したいという声が地域でよく聞かれる。
活動目標	○「公園の魅力みつけ隊（令和６年度より「まちの魅力みつけ隊」へ名称変更：以後「みつけ隊」とする）や「座談会」などを通して、主観的・客観的な情報など地域住民の声を幅広くインタビューすることで地域の情報収集を継続的に行い、地域住民のニーズを把握する。 ○地域の特徴や普段の生活など幅広い観点からも聞き取りを行い、それぞれの地域が抱えている地域課題・特徴を見出すことで課題解決へつなげていくことを目指す。 ○世帯全体を支援していくこと、それには地域の人と直接話ができる場が大切と考える。 ○作成したマップの具体的な活用方法について、これまで収集した情報をいかに地域分析や地区診断につなげていくかについて検討する。 ○どういった活動なら参加しやすいか、どういった役割なら担ってもらえるかといった住民主体での活動の場・居場所づくりに繋げていく。
活動内容（具体的取組み）	・お花見会・・4/10　集合場所　大和田川公園　参加者7名 ・大野せせらぎの里・・9/25　集合場所　大野せせらぎの里　参加者16名 ・南姫島公園・・10/30　集合場所　南姫島公園　参加者6名 内容：クイズ、「いきいきはつらつミーティング～難読漢字」（生活支援体制整備事業で作成）、さいころトーク、ラジオ体操 ●活動の共通な内容 運営する側は、生活支援体制整備事業と協働したイベントとしてそれぞれ役割分担を行う。 参加者は、どの地域の方も参加できる案内をする。 生活支援体制整備事業が作成されている「いきいきはつらつチャレンジ」を皆で行う。 さいころを使って参加者全員が自分の言葉で話をしてもらう。 さいころトークの内容 ①今年「私」がチャレンジしてみたいこと　②地域でこんなイベントがあったらいいな ③地域の皆さんとやってみたいこと　④住んでいる地域のおすすめの場所 ⑤健康の秘訣　⑥最近、気になっていること
成果（根拠となる資料等があれば添付すること）	新型コロナウイルス感染症の感染拡大から地域行事の相次ぐ中止により、包括職員にとっては地域住民の声を聴く機会が激減していたが、「公園」において遊具・設置物・安全性など皆でおしゃべりしながら確認していくために「みつけ隊」を令和3年度より開催していた。 リピートで参加される方もおり、活動を重ねるごとに「もっと新しい人が来たらいいのに」「今回参加したことで、はじめて会った人としゃべれるようになった」などの声があり、住民主体となって続けられたらと座談会（意見交換会）をしたが、“自分たちは今までやってきたから別の人にしてもらえたら”という声がでてきた。 令和６年度から公園だけでなく地域全体の特徴、分析、地区診断につないでいきたいと考え名称を変更、住民主体ではなく地域包括支援センターと生活支援体制整備事業と協働し、地域を問わず参加者を増やす方向で開催を進めた。 地域活動で声をかけ、各イベントには他の地域からも参加があった。サイコロトークからは、よく通っているところ（医療機関や美味しいお店、美容室など）を分類しながらマップを作成することができた。また男性の参加者が少ないので、参加してくれたらなどの声もあがった。

今後の課題	◎地域によって受け入れの差がある。住民主体で居場所をつくるというところまでは時間がかかる。これからも小さなコミュニティ、団地内でのコミュニティの把握、及び把握後のアプローチ方法について関係者で話し合う時間をつくっていき、今まで以上に地域の声を聴く機会をつくる必要があると考える。 ◎生活支援体制整備事業と協働し、今後も住民主体で活動できるきっかけづくりを継続する。 ◎地域の声をマップに起こしたところから、次はカテゴリーを分けて地域の特性を知り、居場所づくりへの参加を促していく必要がある。
※以下は、区運営協議会事務局にて記入	
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年　7月24日(木)
専門性等の該当 （※該当個数は問わない）	☑ 地域性　☑ 継続性　☑ 浸透性・拡張性　☑ 専門性　☑ 独自性
評価できる項目（特性） についてのコメント ＊今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	地域の場で直接住民からインタビューし、地域が抱えている地域課題を見出し、課題解決に繋げていくことを目指している。 また、令和６年度からは地域を問わず参加できるよう対象者を拡大し、生活支援体制整備事業と協働して取り組んでいる。 以上のことからすべての項目に該当している。